

# ■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立老人福祉センター-溪松園、相模原市立老人福祉センター-若竹園
指定管理者名	公益財団法人 相模原市まち・みどり公社
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立老人福祉センター条例
施設の設置目的	老人に関する各種の相談に応ずるとともに、老人に対して健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与する施設(相模原市立老人福祉センター条例第2条)
施設概要	<p>【相模原市立老人福祉センター-溪松園】                      所在地: 相模原市緑区大島3339                      規模: 鉄筋コンクリート造平屋建 延床面積: 2,055.32㎡                      備考: 老人福祉センターA型 昭和47年9月1日開館</p> <p>【相模原市立老人福祉センター-若竹園】                      所在地: 相模原市南区若松2-1-38                      規模: 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積: 1,233.8㎡                      備考: 老人福祉センターA型 昭和57年4月1日開館</p>
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
溪松園	利用者数合計 (人)	53,279	49,995	43,448	0	4,864
	開所日数 (日)	347	345	317	0	153
若竹園	利用者数合計 (人)	49,730	48,603	40,621	0	4,679
	開所日数 (日)	347	347	317	0	153

※新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴い、次の期間、施設の利用を休止した。

【令和元年度】 令和2年3月1日～3月31日

【令和2年度】 すべての期間

【令和3年度】 令和3年4月1日～10月17日

### 3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>2.5</b>
			<b>C</b>		<b>D</b>		

※令和2年度は開所していないため、平成30年度以前は評価制度が異なるため評価は未実施

指標	
指標名 (単位)	一日平均利用者数(人)
指標式と指標の説明	年間利用者数÷開所日数

項目 (単位)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
溪松園	目標値 (人)	160	160	161	161	162
	実績値 (人)	153.5	144.9	137.1	-	31.8
	達成度 (%)	95.9%	90.6%	85.2%	-	19.6%
若竹園	目標値 (人)	150	150	151	151	152
	実績値 (人)	143.3	140.1	128.1	-	30.6
	達成度 (%)	95.5%	93.4%	84.8%	-	20.1%

### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>18</b>
			<b>S</b>		<b>A</b>		

※令和2年度は開所していないため、平成30年度以前は評価制度が異なるため評価は未実施

#### 市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
医師などによる健康相談	希望者に対し、医師や看護師から健康に関するアドバイスを行う。	定員を超える相談を受け付けるなど、利用者の健康増進に寄与した。
介護予防教室	介護予防のための知識や日常生活で転倒しないための意識向上を図る。	定員を超える参加者があり、利用者の健康増進に寄与した。

#### 企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
カラオケのど自慢大会【溪松園】	カラオケ機の採点機能を利用し、カラオケのど自慢大会を実施。共通の趣味を持つ利用者同士の交流を深める。	多くの参加者があり、利用者同士の交流促進に寄与した。
ちりめん細工教室【溪松園】	ちりめん細工の作成により、伝統文化に触れ、また参加者同士の交流、さらに手先を使うことにより脳を活性化させる教室。	多くの参加者があり、利用者の教養向上、健康増進に寄与した。
芸能大会【若竹園】	若竹園を利用しているサークルに発表の場を設ける。長年にわたり若竹園で実施し、多くの利用者に好評。	多くの参加者があり、利用者の教養向上、レクリエーションのための便宜が図られた。
認知症サポーター養成講座【若竹園】	認知症の人やその家族を見守る応援者である「認知症サポーター」を養成するための講座を相模原市の協力を受けて開催。	多くの参加者があり、認知症に対する理解の促進、高齢者福祉の向上が図られた。
かわり風呂【溪松園・若竹園】	四季を感じてもらう「かわり風呂」を提供。ゆず湯や菖蒲湯などを実施。	多くの参加者があり、利用者同士の交流の促進や施設のPRIに寄与した。

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
			A		A		

※令和2年度は開所していないため、平成30年度以前は評価制度が異なるため評価は未実施

利用者満足度調査	
調査手法	利用者へのアンケート調査
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の回答割合

項目（単位）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
溪松園	目標値（％）	90%	90%	90%	90%	90%
	実績値（％）	96.5%	96.8%	96.2%	未実施	95.2%
	達成度（％）	107.2%	107.6%	106.9%	未実施	105.8%
若竹園	目標値（％）	90%	90%	90%	90%	90%
	実績値（％）	97.2%	99.2%	99.0%	未実施	94.8%
	達成度（％）	108.0%	110.2%	110.0%	未実施	105.3%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度は施設の利用を休止したことから、調査は未実施

利用者意見の把握に資するその他の取組	
主な取組事項	取組内容
ご意見箱	施設受付にご意見箱を設置し、利用者からの意見要望等を随時受け付けている。受け付けた内容は、掲示板にて回答し、対応に努めている。

利用者意見に対する対応	
主な意見	対応内容
会議室の机・椅子が老朽化している上に重く、出し入れが大変。軽量の物に替えて欲しい。	利用者の安全と出し入れのし易さを考慮し、軽量の机と椅子を新たに購入した。
女子浴室の椅子が低くて立ち上がりが困難なため、高さのある椅子が欲しい。	足腰の負担が軽減されるよう、高さのある椅子を新たに購入した。
浴槽（男・女）内のタイルが剥がれていて危険なので修繕して欲しい。	タイルが剥がれている部分等をモルタルにて暫定修繕を行った。
休憩室の畳が古いため、新しくして欲しい。	畳の表替えを行った。
新型コロナウイルス感染症対策（消毒）のために実施しているスカイウェルの利用制限（時間枠）をもう少し緩和して欲しい。	スカイウェルの利用時間枠を見直し、消毒作業等を行う時間を確保しつつ、多くの利用者が利用できるよう工夫した。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
	<b>S</b>	<b>S</b>	<b>S</b>	<b>S</b>	<b>S</b>		<b>20</b>

### 施設の収支概要

(千円)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入 (a)	100,855	100,886	105,951	114,390	110,838
指定管理料	100,855	100,886	100,886	100,886	100,828
利用料金収入	0	0	0	0	0
その他の収入	0	0	5,065	13,504	10,010
支出 (b)	95,439	99,145	95,443	81,074	94,350
人件費	31,255	32,566	32,458	25,785	29,808
本社管理経費	3,066	2,089	492	6,155	5,736
その他の支出	61,118	64,490	62,493	49,134	58,806
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	5,416	1,741	10,508	33,316	16,488
自主事業収入 (d)	109	61	74	0	26
自主事業支出 (e)	719	688	667	0	239
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	-610	-627	-594	0	-213
全体収支 【(c)+(f)】	4,806	1,114	9,914	33,316	16,275
備考	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う指定管理料の返還金は次のとおり(上記の収支概要には含まれていない。) R1年度 1,737,523円 / R2年度 34,310,651円 / R3年度 22,412,338円				

## 7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
管理業務			適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理			適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用			適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理			適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理			適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ			適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護			適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等			適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無			無	無	無
主な加点内容					

## 8 指定管理者の自己評価

常連利用者の高齢化に伴い、平成29年から令和元年にかけて利用者数が減少しているものの、健康相談事業については、浜松園において、直近10年間で参加者平均10,497人のところ、平成29年度には、過去2番目に多い12,446人に達するなど、利用者の健康意識の向上が伺えた。また、かわり湯や介護予防教室においては、毎年、定員を超える参加者となり、利用者同士の交流の促進や教養の向上に大きく貢献したものである。

また、利用者満足度調査については、今期の指定管理期間中は両園ともに100%以上の達成度を維持することが出来た。利用者からのご意見を基に、畳の表替えや、会議室の机・椅子を軽量なものに買い替えるなど、利用者の利便性を重視した対応が評価されたものであると考えている。

なお、令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う1年半を超える長期間の施設閉鎖と、施設再開後の各種利用制限は利用者離れに大きな影響を及ぼし、令和3年度においては、自主事業の参加者や利用者数の獲得については困難を極める状況であった。このような状況下でも、定員を減らし、感染症対策を講じた上で事業を再開することで、コロナ禍で大幅に減少した高齢者の外出の機会を創出出来たことは高齢者福祉の向上に大きく寄与できたと考えている。

このような状況を踏まえ、次期指定管理期間においては、引続き利用者ニーズに即した施設運営に努めるとともに、今まで以上に多彩な自主事業の展開により、新規利用者の獲得に向けて取り組んでいきたい。

## 9 所管課意見

・成果指標については、新型コロナウイルス感染症の影響が無い平成29年度から令和元年度においても、両施設とも目標を達成できず、利用者数が低下した。施設の老朽化だけでなく、利用者の固定化や魅力的な事業の不足によるものと考えられることから、今後は、新たな利用者の確保のため、他市や他施設の事例を参考にしながら、高齢者の教養の向上に資する事業や、特に介護予防や認知症予防等、高齢者の健康増進に資する事業展開を積極的に行うとともに、様々なツールを用いて施設や事業をPRすることを期待する。

・利用者満足度調査は期間中継続して高い評価を得ており、高齢の利用者に寄り添った施設運営ができたものと考えられる。新たな指定期間においても高い評価が継続できるよう期待する。

・収支が5年間連続して黒字となり、利用者の要望等に基づき備品購入や修繕等により利用者への還元を行ったことを評価する。利用料金収入が無い施設ではあるが、経費の節減等によりさらなる利益の還元を行い、次期指定期間においても利用者満足度の向上に努めていただきたい。

## 10 選考委員会意見

・5年間の指定期間の中で、施設の老朽化や利用者の超高齢化等により利用者が年々減る中で、浜松園においては食堂事業者が撤退するなど、利用者の利便性が低下したことは否めない。大広間での団体利用やカラオケ利用だけでなく、様々な分野で自主事業を充実させるとともに、新たなサービスを導入するなど、新たな利用者の確保と利便性の向上に努めてもらいたい。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、約1年半もの長期間にわたる施設休止と再開後の様々な利用制限を余儀なくされ、利用者離れが加速化した。コロナ禍において世の中が大きく変化し、高齢者のフレイル予防や孤立化防止が喫緊の課題となり、老人福祉センターが担うべき役割も急速に変化しているものと思われる。次期指定期間においては、市内の多くの高齢者が魅力を感じる施設となるよう、これまでとは異なった視点を持って運営されることを期待したい。

### 総合評価（自動判定）

**A**

(70/100)

